

## 第8回中部 MISt 研究会 開催レポート

第8回中部 MISt 研究会 当番幹事  
新田塚医療福祉センター 福井総合病院 整形外科  
水野 勝則

去る2017年9月2日(土) 福井市において 第8回中部 MISt 研究会を開催させていただきました。

幸い天候に恵まれ 多数の先生方にご参加いただき 盛会のうちに無事終了いたしましたので ここにご報告申し上げます。

本会に先立ち 午前中に 手術室Ns対象のハンズオンセミナーを行いました。  
北陸三県からお集まりいただいた参加者に まず MISt に関する講義を聞いていただいた後、4テーブルに分かれて 実際の MISt 手技を体験していただきました。

最後にご挨拶いただいた はちや整形外科 蜂谷裕道先生の「器械を渡す人ではなく 術者になったつもりで手術に参加して下さい！」というお言葉は 参加者全員の胸に響いたことと思います。

午後の本会では 一般演題として14題のご発表があり 各演題ごとに活発な質疑応答が繰り広げられました。

会を盛り上げていただいた ご発表・ご参加の先生方 本当にありがとうございました。  
優秀演題賞には 富山県立中央病院 整形外科 笹川武史先生の演題が選ばれました。

本会の最後には 特別講演として 東京慈恵会医科大学附属第三病院の篠原光先生より「骨粗鬆症性椎体骨折に対する MISt 治療戦略」という演題で ご講演を賜りました。  
今年2月の日本 MISt 研究会で会長を務められた篠原先生の 「これぞ MISt！」という美しい症例写真や術中動画の数々は、まだまだ MISt が根付いていない北陸地区の面々を驚愕させるのに十分な内容でした。

また X-core を用いた椎体置換術は 今後 骨粗鬆症性椎体骨折変形治癒に対する治療の大きな柱として発展していくように感じました。

本会終了後は あわら温泉「灰屋」に場所を移して、懇親会・本音会が開催されました。  
宴会場ではここでしか聞けない！という門外不出の症例提示もあり 大変勉強になりました。

部屋に戻っての二次会でも お泊りいただいた先生方の熱い話は尽きることがなく、散会

はAM3時だったと伺っております（当番幹事は撃沈しておりました…）。

本研究会の開催にあたりましては 中部 MIST 研究会 幹事の先生方をはじめ、会の運営にご尽力いただいた中部 MIST 研究会事務局の皆様 協賛いただいたメーカーおよび製薬会社各位、皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

次回の第9回中部 MIST 研究会は 浜松医科大学 戸川大輔先生が当番幹事となり、2018年2月24日（土） 浜松市において開催される予定です。

全国の日本 MIST 研究会会員の皆様と 浜松でお会いできることを楽しみにしております。

それでは 今後ともよろしくお願い申し上げます。

